



進路通信

西濃高等特別支援学校

進路指導部

第4号：令和7年1月21日（火）



令和6年度 卒業生と語る会

1月15日（水）に「令和6年度 卒業生と語る会」を行いました。今年度は入社1年目の加藤智也先輩（鴻池運輸）、入社2年目の池尾真輝先輩（アイシン）、入社2年目の岩間恒星先輩（社会福祉法人北農）が、社会人として体験したこと、悩んだり困ったりしたこと、社会人としての楽しみや喜びについて等、本当に貴重で、今後の参考になるお話をたくさんしてくれました。

座談会も含め、3人の先輩達の話のポイントを振り返ってみます。

- ・学生時代は家族に頼ってた部分が多かったが、社会人になり自分で判断し、行動することが増えた。
- ・会社の先輩たちに敬語で話すことで、親切にしてもらえたり、助けてもらえるようになった。
- ・仕事の失敗で落ち込むこともあるが、自宅ではなるべく仕事のことは忘れるようにして、切り替えを大切にしている。
- ・夜勤への対応は難しかったが、夜勤をしている同級生にアドバイスをもらったり、ネットで調べたりして、前日の過ごし方等を工夫するようになった。
- ・仕事に関わる資格を取得したり、今後の目標を決めて、仕事に向き合っている。
- ・休日は学生時代の友達と遊んだり、料理や旅行など自分の好きなことをしている。
- ・仕事で困った時は、自分で抱え込まず、近くの相談しやすい人に相談している。
- ・利用者さんの笑顔が増えたり、自分の仕事に関わる製品を生活の中で見たりすることで、自分の仕事が役に立っていると実感し、喜びを感じる。



3年生の皆さんは、あと2カ月半で社会人ということもあり、多くの生徒が挙手をして、先輩たちに積極的に質問をしていたことが、とても印象的でした。この「卒業生と語る会」で学んだことや感じたことを、社会の中で生かして行ってくれると信じています。